

エコアクション21

環境経営レポート

令和1年5月～令和2年4月



空調設備設計施工・保守管理・冷媒回収事業所・省エネ・快適提案



FLEX 株式会社 **フレックス**
AIR CONDITIONING 会社

®環境省
エコアクション21
認証番号 0012463

令和2年8月11日 発行

目次

◇ 会社の概要・対象範囲	①
◇ 環境経営方針	②
◇ 環境経営目標	③
◇ 実施体制	④
◇ 環境経営計画	⑤
◇ 環境経営目標の実績と評価	⑥
◇ 環境経営計画の取組結果とその評価、 次年度の取組方針内容	⑦
◇ 環境関連法規等の遵守状況確認及び評価の結果 ならびに違反、訴訟等の有無	⑧
◇ 当社の取組等	⑨
◇ 代表者による全体評価と見直しの結果	⑩

① 組織の概要

事業所名 株式会社フレックス

代表者名 代表取締役 宮田真澄

所在地 〒849-0937 佐賀県佐賀市鍋島6丁目11番19号

環境管理責任者 環境管理責任者 宮田真澄

事務担当者 宮田俊介

連絡先

TEL 0952-33-0488

FAX 0952-33-0182

E-mail shunuske@flex-eco.com

URL <http://flex-eco.com>

事業活動の内容

空調・換気設備設計施工 保守管理及びフロンの回収

事業年度 5月～翌年4月

事業の規模

項目	単位	平成29年度	平成30年度	令和1年度
売上高	百万円	239	291	233
従業員数	人	13	13	14
床面積 (床面積含む)	m ²	292	292	292

許可の内容

建設業許可 佐賀県知事許可(般-27)第7648号

許可の種類 管工事業 電気工事業

許可の有効期間平成28年3月9日から平成33年3月8日まで

認証・登録の対象範囲

活動：全事業活動 対象組織：全社

② 環境経営方針

【 基 本 理 念 】

株式会社フレックスは空調換気設備の専門企業として地域社会の発展に貢献することを基本理念としています。
「人にやさしい自然環境」をテーマに、環境問題にも配慮しながら、人々が快適な環境の中で暮らしていけるよう全ての事業活動の中で全員参加にて自主的、積極的に環境保全活動に取り組んでいきます。

【 環 境 経 営 方 針 】

- ◇ 株式会社フレックスは空調換気設備の施工及びフロン回収を通じて、EA-21 マネジメントシステムを構築し、自主的な環境経営目標・環境経営計画を定め定期的な見直しを行い継続的な改善に全社一丸となって取り組みます。環境関連法規制等を遵守します。
- ◇ 二酸化炭素・廃棄物・排水の排出量減に努めます。
- ◇ 電気、軽油、ガソリン等の使用量削減に努めます。
- ◇ 無駄な材料の購入を減らし、廃棄物の削減に努めます。
- ◇ 節水活動による水使用量の削減に努めます。
- ◇ 化学物質の適正使用に努めます。
- ◇ グリーン購入を図ると共に、環境に配慮した商品やサービスを提供します。
- ◇ お客様に環境に配慮した工事の提案を積極的に行います。
- ◇ 全従業員及び協力企業に対して、環境保全に対する理解と意識向上に努めます。

制定日 平成 29 年 10 月 10 日

株式会社フレックス

代表取締役

宮田真澄

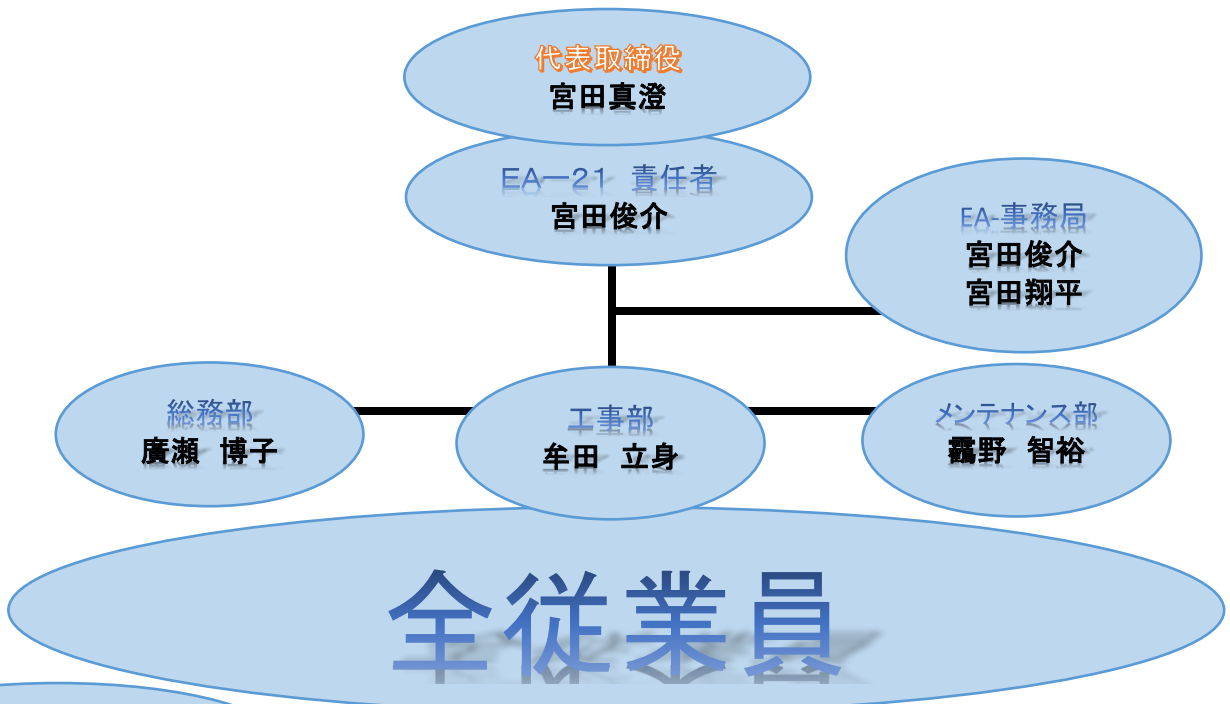
③ 環境経営目標（令和1年度）

環境目標		サイト区分	単位	基準年				
				28年度	H30年度	R1年度	R2年度	
					(2%削減)	(3%削減)	(4%削減)	
			H28.5.1～ H29.4.30	H30.5.1～ H31.4.30	R1.5.1～ R2.4.30	R2.5.1～ R3.4.30		
1	二酸化炭素排出量の削減		事務所 + 現場	kg-CO ₂	68,020	66,659	65,979	65,299
	(1)	電気使用量の削減	事務所	kWh	15,571	15,259	15,103	14,948
	(2)	ガソリン使用量の削減	現場	L	8,345	8,178	8,094	8,011
	(3)	軽油使用量の削減	現場	L	15,671	15,357	15,200	15,044
2	廃棄物排出量の削減							
	(1)	一般廃棄物排出量の削減 (OA用紙使用量)	事務所	(kg)	80	78	77	76
	(2)	産業廃棄物排出量の削減	現場	t	17.8	17.4	17.3	17.1
3	水使用量の削減		事務所	m ³	125	122.5	121.2	120
4	グリーン購入の推進		事務所 (事務用品)	品目数	-	72	84	96
			現場	品目数	-	24	36	48
5	フロンガス漏えいの防止のための フロン排出抑制法の自社PR件数		事務所 + 現場	PR件数	-	24	36	48

備考：削減率は基準年実績値に対する比率を表す

- * 二酸化炭素排出量における購入電力の調整後排出係数は0.483kg-CO₂/kWh(九州電力平成28年度)を使用。
- * ルームエアコン等の工事でグリーン購入法の対象商品を取り扱った場合も品目数の数値に加算するものとする。

④ 実施体制



代表取締役

■ 環境管理システム 役割・責任・権限表

1. 環境経営システム全般に対する責任と権限。
2. 環境経営システムを構築し、実施及び維持に必要な経営資源(人材、資金設備、専門的スキル)を準備する。
3. 毎年定期的に又は事業活動の著しい変更がある場合は環境目標、環境活動計画、環境経営システムの見直しを行い必要があれば是正する。
4. 環境目標及び環境活動計画の承認。

EA-21責任者

1. EA-21 システムの確立、実施推進。
2. 環境負荷・取組への自己チェックの承認。
3. 環境目標及び環境活動計画の策定。

EA-21事務局

1. 環境負荷・取組への自己チェックの実施。
2. 環境関連法規の取りまとめ及び遵守状況確認。
3. 教育訓練計画策定。
4. 環境文書及び記録の作成、管理。
5. 環境活動レポートの作成。

各部門長

1. 環境計画の実施。
2. 問題点の把握と是正の実施。
3. 従業員教育。

全従業員

1. 環境方針、目標を理解。
2. 決められたことを守り活動を実施。
3. 自らがいつでも先頭に立ちエコアクション21の実施指導が行えるような視点を持つ。

⑤ 環境経営計画（2019年度）

1 二酸化炭素排出量の削減

取組目標	責任者	達成手段	スケジュール											
			2019年度											
			5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
1 電気使用量の削減	廣瀬	① 昼休み等の不要時には消灯の徹底	←→											
		② 不必要な照明の消灯	←→											
	宮田 俊介	③ 不在時のエアコンの運転OFFと適正な温度管理実施	←→			←→								
		④ フィルターの定期清掃	←→		←→									
2 燃料使用量の削減	牟田	① 急発進、急加速の禁止	←→											
	武田	② アイドリングストップの徹底	←→											
	副島	③ 法定速度運転の推進	←→											
	西村	④ 走行日報による車両の管理	←→											
	佐々木	⑤ 相乗りによる工事現場への移動の徹底	←→											

2 廃棄物排出量

取組目標	責任者	達成手段	スケジュール											
1 一般廃棄物排出量の削減	宮田 翔平	① 社内LAN、データベース等の利用による文書の電子化に取り組む	←→											
		② 両面コピー及び印刷の徹底	←→											
		③ 裏紙をメモ等に利用した用紙の削減	←→											
2 産業廃棄物排出量の削減	牟田	① 一般廃棄物、産業廃棄物の分別の徹底、削減	←→											
		② マニフェスト管理による適正処理	←→											

3 水使用量の削減

取組目標	責任者	達成手段	スケジュール											
1 水使用量の削減	廣瀬	① 手洗い時、洗い物において日常的に節水を励行する	←→											
		② 節水シール等の表示	←→											
		③ 蛇口に節水コマの設置を検討	←→											

4 グリーン購入の推進

取組目標	責任者	達成手段	スケジュール											
1 グリーン購入の推進	廣瀬	① エコマーク商品の優先的購入	←→											
		② グリーン購入法基準をクリアしたエアコンの販売促進	←→											

5 フロンガス漏えいの防止のためのフロン排出抑制法のPR

取組目標	責任者	達成手段	スケジュール											
1 フロンガス漏えいの防止のためのフロン排出抑制法のPR	江原	① 工事完了後、機器取扱い説明時にフロン排出抑制法のPRを行う	←→											
	檜原	② 適切なフロン回収の実施及びフロン回収量の記録	←→											
	瀬戸口	③ 知識、技術の向上、冷媒フロン類取扱技術者資格の取得	←→			←→			←→					

⑥ 環境経営目標の実績と評価

環境目標	サイト区分	単位	28年度	2019年度(R1年度)				
			H28.5.1~H29.4.30	R1.5.1~R2.4.30				
			基準年度	目標△3%	実績	達成率	評価	
1	*二酸化炭素排出量の削減	事務所 + 現場	kg-CO2	68020	65979	82005	80%	△
	(1) 電気使用量の削減	事務所	kWh	15571	15103	13741	109%	○
	(2) ガソリン使用量の削減	現場	L	8345	8095	8326	97%	△
	(3) 軽油使用量の削減	現場	L	15671	15201	21353	71%	×
廃棄物排出量の削減								
2	(1) 一般廃棄物排出量の削減 (OA用紙使用量)	事務所	(kg)	80	77.6	63.6	122%	○
	(2) 産業廃棄物排出量の削減	現場	t	17.8	17.34	10.98	157%	○
3	水使用量の削減	事務所	m ³	125	121.2	61	198%	○
4	グリーン購入の推進	事務所 (事務用品)	品目数	-	84	25	33%	×
		**現場	品目数	-	36	26	72%	△
5	フロンガス漏えい防止のためのフロン排出抑制法のPR件数	現場	PR件数	-	36	38	105%	○

達成率(削減目標) = (目標 ÷ 実績) × 100%

達成率(増加目標) = (実績 ÷ 目標) × 100%

* 二酸化炭素排出量における購入電力の調整後排出係数は0.483kg-CO₂/kWh(九州電力平成28年度)を使用。

** ルームエアコン等の工事でグリーン購入法の対象商品を取り扱った場合も品目数の数値に加算するものとする。

⑦ 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

【 R1年度 】 2019.5～2020.4

1 二酸化炭素排出量の削減

取組目標	取組内容	取組結果・評価				次年度の取組
		1/4期	2/4期	3/4期	4/4期	R2年5月～R3年4月
1 電気使用量の削減	昼休み等の不要時には消灯の徹底	○	○	○	○	消灯の意識継続。
	不必要な照明の消灯	○	○	×	×	倉庫内照明のこまめな消灯
	不在時のエアコンの運転OFFと適正な温度管理実施	○	○	×	×	エアコンの使用期間を決める。(暖房時)
	フィルターの定期清掃	○	○	○	○	次年度も計画的に定期清掃を行う。
2 燃料使用量の削減	急発進、急加速の禁止	○	○	△	×	時間にゆとりを持ちエコドライブの継続の実施。
	アイドリングストップの徹底	○	×	○	○	アイドリングストップのさらなる意識向上を行う。
	法定速度運転の推進	○	○	○	○	次年度の取組も継続して行う。
	走行日報による車両の管理	○	○	○	○	次年度の取組も継続して行う。
	相乗りによる工事現場への移動の徹底	○	○	△	○	前年度より乗り合いの意識が高まってはいる。さらなる意識行動を周知させる。

2 廃棄物排出量

取組目標	取組内容	取組結果・評価				次年度の取組
1 一般廃棄物排出量の削減	社内LAN、データベース等の利用による文書の電子化に取り組む	○	○	○	○	次年度もさらなる電子化を検討し、実行する。
	両面コピー及び印刷の徹底	○	○	○	○	次年度の取組も継続して行う。
	裏紙をメモ等に利用した用紙の削減	○	○	○	○	次年度の取組も継続して行う。
2 産業廃棄物排出量の削減	産業廃棄物の分別の徹底、削減	○	○	△	○	庫内一斉清掃を継続し、分別内容を分かり易く掲示する
	産業廃棄物の manifests 管理による適正処理	○	○	○	○	次年度の取組も継続して行う。

3 水使用量の削減

取組目標	取組内容	取組結果・評価				次年度の取組
1 水使用量の削減	手洗い時、洗い物において日常的に節水を励行する	○	○	○	○	次年度も全従業員で節水を行う。
	節水シール等の表示	○	○	○	○	次年度も全従業員で節水を行う。
	蛇口に節水コマの設置を検討	○	○	○	○	設置できなかったため次年度は確実に設置する。

4 グリーン購入の推進

取組目標	取組内容	取組結果・評価				次年度の取組
1 グリーン購入の推進	エコマーク商品の優先的購入	○	○	○	○	次年度も継続し、購入時に再確認を行う。
	グリーン購入法基準をクリアしたエアコンの販売促進	○	○	○	○	R-22冷媒ガス撤廃も含めPRし省エネ機器を提案する。

5 フロンガス漏えいの防止のためのフロン排出抑制法のPR

取組目標	取組内容	取組結果・評価				次年度の取組
1 フロンガス漏えいの防止のためのフロン排出抑制法のPR	工事完了後、機器取扱い説明時にフロン排出抑制法のPRを行う	○	○	○	○	R-22撤廃も含めPRし省エネ機器を提案する。
	適切なフロン回収の実施及びフロン回収量の記録	○	○	○	○	次年度の取組も継続して行う。
	知識、技術の向上、冷媒フロン類取扱技術者資格の取得	○	○	○	○	全員の冷媒フロン類取り扱い資格の取得を行う。

* 取組結果の評価基準

良好 ○ やや不十分 △ 不十分 ×

⑧ 環境関連法規等の遵守状況確認及び評価の結果

ならびに違反、訴訟等の有無

主な環境関連法規の遵守結果

法令の名称	法令条項	実務概要	違反・訴訟の有無	遵守結果
廃棄物処理法	第 6 条	一般廃棄物の収集業者への委託処理	無	○
	第 12 条 2 項	産業廃棄物の適正保管	無	○
	第 12 条 5 項	産業廃棄物の委託処理	無	○
	第 12 条 3 項	マニフェストの保管・管理	無	○
建設リサイクル法	第 10 条	対象建設工事の発注者または自主施工者の対象工事の届出	無	○
	第 16 条	再資源化等の実施	無	○
	第 18 条	再資源化等の報告	無	○
騒音規制法	第 14 条	特定建設作業実施の届出	無	○
	第 15 条	振動の規制基準の遵守	無	○
振動規制法	第 14 条	特定建設作業実施の届出	無	○
	第 15 条	振動の規制基準の遵守	無	○
家電リサイクル法	第 6 条	製品廃棄の際の適正な引渡、処理料金の支払い	無	○
フロン排出抑制法	第 86 条	管理者の判断基準	無	○
	第 2 条	第一種フロン類回収業者の登録	無	○
	第 16 条	業務用空調機の簡易点検	無	○
	第 46 条	フロン類引き渡し義務	無	○
	第 41 条	第一種フロン類回収業者の引き渡し義務	無	○
	第 47 条	回収量の記録	無	○
	第 74 条	フロン類回収等の料金負担	無	○
第 70 条	フロン破壊証明書の回付、保存	無	○	
労働安全衛生法	第 66 条	健康診断の実施	無	○

当社に適用される環境関連法規等への違反はありませんでした。

また公的機関や外部からの違反の指摘や訴訟もありませんでした。

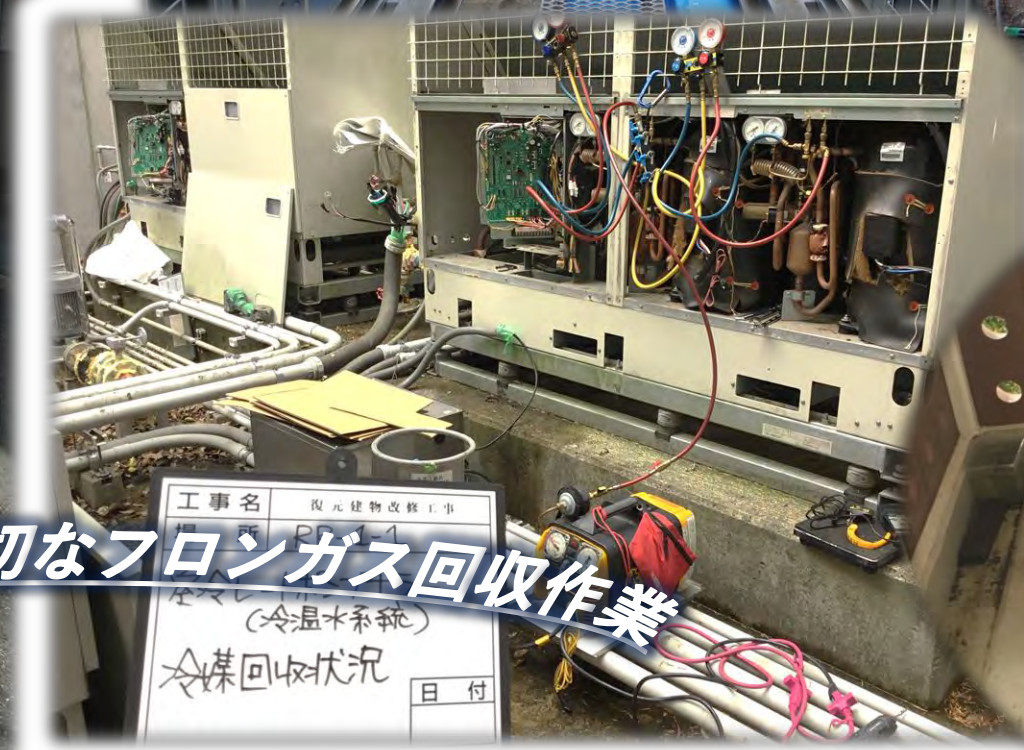
⑨ 当社の取り組み内容

省エネルギー空調設備への新設工事や更新工事





有資格者による適切なフロンガス追加充填作業



有資格者による適切なフロンガス回収作業

工事名 複元建物改修工事
 設備名 冷温水系統
 冷媒回収状況

目付	
----	--



有資格者による空調機器の定期点検



LEDセンサーライト付防犯カメラを設置しました



毎月1回の倉庫内一斉清掃



⑩ 代表者による全体評価の見直しの結果	記録日	記録者
	2020.6.22	宮田

【取り組み状況の評価結果】

エコアクション21の取り組み期間が2年を経過した現在 社員の取り組み方にも徐々に浸透してきていると思いますが
ガソリン・軽油使用量に関しては、車両の増車及び遠方の現場が多かった為に目標未達となった引き続き可能な範囲で乗り合いを意識し二酸化炭素排出量の削減に努めていきたいと思ひます
電気使用量については空調の設定温度の調整や照明の細かいON・OFF等の節電にて若干ではあるが目標値を達成しています 今後も継続していきたく思ひます
事務所での産業廃棄物についてはゴミの分別等がきちんとできているので引き続き継続していきたく思ひます 水使用量の削減については引き続き節水に取り組むように努めたい
フロン排出抑制法はユーザー様の意識も徐々に認識していただけるようになってきているので簡易・定期点検のユーザー様の獲得に尽力していきたく思ひます
目標が達成できなかった方針については、更に原因の把握と活動内容に是正と目標値の見直しを行い すべての方針が達成できるよう 継続して全社員が自覚を持って環境保全に努め、環境型社会の構築に貢献し地域社会の信頼関係の構築を今後も目指します

【変更の必要性の判断】

- ①環境経営方針：変更の必要は無い
- ②環境経営目標：変更の必要は無い
- ③環境経営計画：変更の必要は無い

【目標・環境活動計画の達成状況】

(詳細は環境活動計画書による)

目標項目	達成地	活動計画	コメント
	達成状況	実施状況	(目標値に対するコメント・活動計画に対するコメント)
電力の削減	○	○	全社員へ削減の意識が継続していると思ひます
燃料使用の削減	×	△	車両台数が今期も増えたことにより目標数値を達成できなかった
一般廃棄物の削減	○	○	事務機器・ソフト等の導入によりペーパーレス化は継続されていると思ひます
産業廃棄物の削減	○	○	今期も従来からの廃棄物分別の徹底は継続されています
節水	○	○	今期も全社員で削減の意識が継続されていると思ひます
グリーン購入(事務所)	○	○	エコマーク商品の優先購入が継続されています
グリーン購入(現場)	○	○	エコマーク商品の優先購入が継続されています
フロンガス漏洩防止の為の フロン排出抑制法のPR件数	○	○	今期も取り組みが継続されていると思ひます

〈改善への提案〉

達成出来なかった項目・活動計画の実施状況が良くない項目については再度その原因を究明し、今期も社員一同で達成手段の徹底に心掛けるようにする

〈その他判断材料〉

法規遵守状況確認記録、外部コミュニケーション記録、是正処置記録、前回の見直し記録

[周囲の変化の状況]

グリーン適合商品購入の意義が最終ユーザー様にも浸透していると思ひますので今後も、PRに努めて行きたいと思ひます
フロン排出抑制法に対するユーザー様からのお問合せが増えてきていると感じます

〈総括〉

今期も引き続き全社員の環境意識の高揚に努め、環境負荷低減に努めていくこと
環境経営システムは有効に機能している、現状を継続していくこと

株式会社フレックス
代表取締役 宮田眞澄